

## 令和8年度 園経営計画 足立区立いりや第二保育園

園長 笠木 奈緒子

## 1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもの人権と最善の利益を尊重し、心身の健康と安全を守り、のびのびと自己発揮できる子どもを育てる。
- (2) 子ども主体の保育の実践のために、自らの保育を振り返り、学びあい、専門性を向上させる保育者を育成する。
- (3) 家庭や保護者と丁寧につながり、食や絵本などを通して子育ての喜びを共有できる拠点としての役割を担う。

## 2 園の現状

- (1) 子どもは園庭で身近な自然との触れ合いや異年齢児との関わりを楽しんでいる。今後はさらにダイナミックに遊べる環境やきっかけ作りを行いたい。
- (2) 保護者は園の保育に理解を示し協力的である。家庭での生活習慣、災害時の対応などに関心を寄せている。
- (3) 保育者は子どもの主体性を大切にする関わりを心がけている。今後は人権感覚をさらに磨くとともに、危機管理能力の向上を目指したい。

## 3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもの人権を尊重し、愛着形成を基盤とした安心できる生活の場を整える。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 職員全体で「人権教育」を推進し、子どもの権利擁護を徹底する。	ア 会議等で関わりについて相互に振り返る機会をもつ。 イ 一人ひとりを尊重する言葉かけや接し方を常に意識し、職員の人権感覚を磨く。
(2) 特定の保育者との応答的な関わりを通し、安定した「愛着」を形成する。	ア 子どもが安心して感情を出せるように、丁寧な関わりを通して信頼関係を築く。
(3) 応答的な関わりの中で、生活習慣の自立を促す。	ア 一人一人の発達に応じた対応を保護者と一緒に検討、確認し、見守りや援助の方法を職員間で共有する。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもの「やってみたい」を引き出す環境構成と、心身を守る危機管理を両立する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 発達や興味に応じ、多様な体の動きを引き出す「環境構成」と「運動遊び」の充実。	ア 園庭やホールにおいて、様々な動きが経験できる遊びや環境設定を工夫し、体幹やバランス感覚を育む。 イ 子どもの遊びの状況を明確にし、子どもが自分で遊びを選択し、集中できる室内・園庭・廊下環境を再構成する。
(2) あらゆるリスクを想定し、全職員で「危機管理」意識を高める。	ア ヒヤリハットを共有し、事故を未然に防ぐとともに、子ども自身が危険に気付けるような指導も行う。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	保育の専門性を探求し、保護者と共に子どもの育ちを支える。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 園内研修や研修への参加を通して学びを深め、実践に活かす。	ア 園内研修を計画的に実施する。また、他園の実践や外部研修での学びを共有し、多角的な視点で自園の保育を見つめ直す。
(2) チームワークを強化し、互いに高め合う職員集団を作る。	ア クラスや経験年数の枠を超えて保育について語り合う場を設ける。そして互いの保育の良い点を認め合い、課題を話し合える園風土を構築する。